

WENの 「くらしと放射線」プロジェクトから

～放射線に対する女性(20～70代)の不安と関心～

2008年5月15日

ウイメンズ・エナジー・ネットワーク(WEN)会員
消費生活アドバイザー

碧海 酉癸(あおみ ゆき)



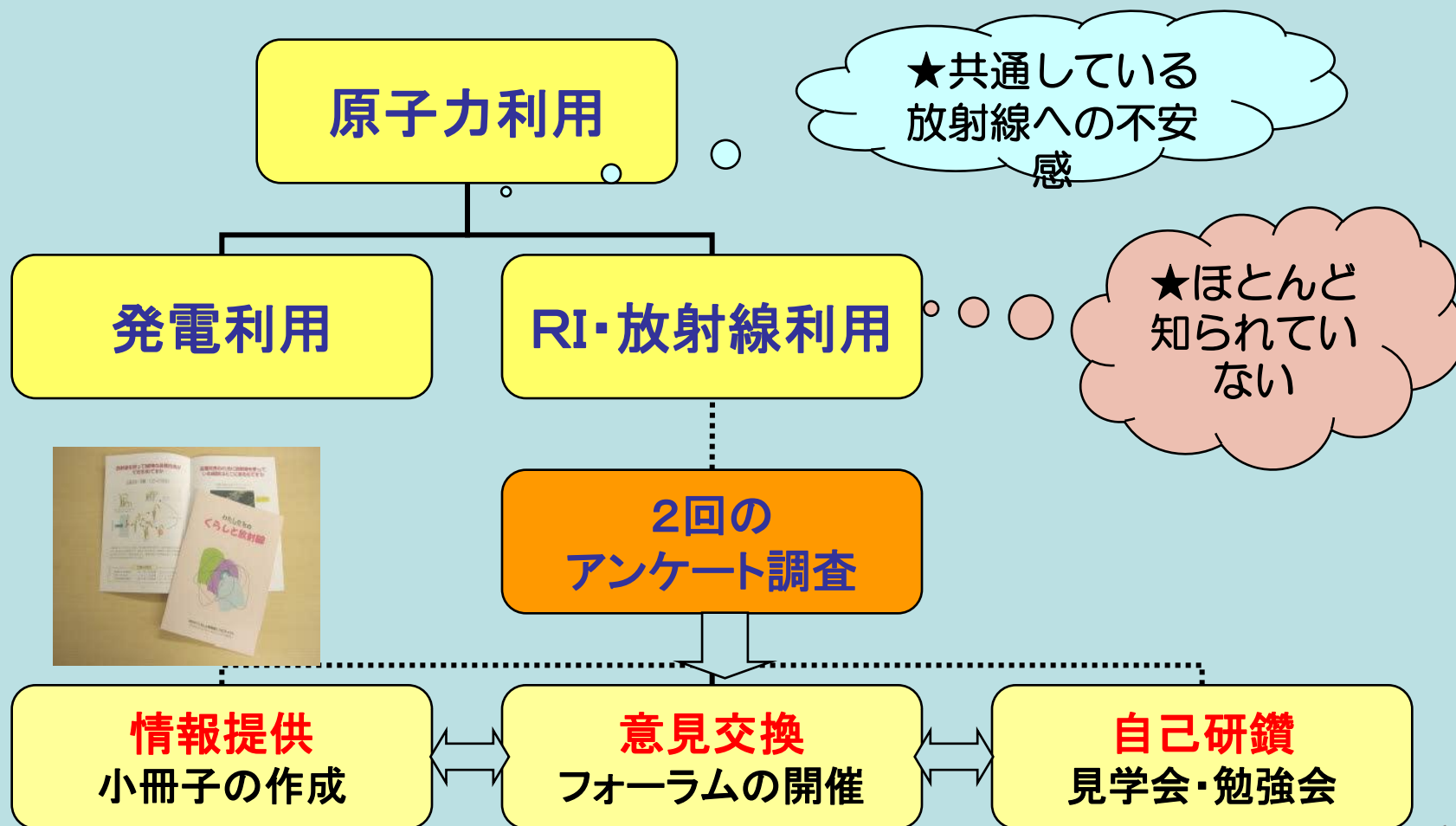
ウイメンズ・エナジー・ネットワーク(WEN) とは

- 1993年3月に発足した任意団体
- 正会員は女性のみ
 - ・エネルギー関連の企業・研究所・団体などで働くもの
 - ・企業や行政と消費者とのパイプ役としての資格を得て活動している消費生活アドバイザー
 - ・グループ活動をする主婦等
- 現在、正会員数は100名弱
- エネルギーや原子力に関する専門家と、一般の人々を結ぶパイプ役として
 - ・一般市民の声をひろくききながら、エネルギーや原子力に関する、わかりやすい、そして正確な情報を提供しようと努めている
- 年間テーマ「生活から見つめる 資源・環境・エネルギー」
- 会員はそれぞれ関心のあるプロジェクトに参加し自主的に活動

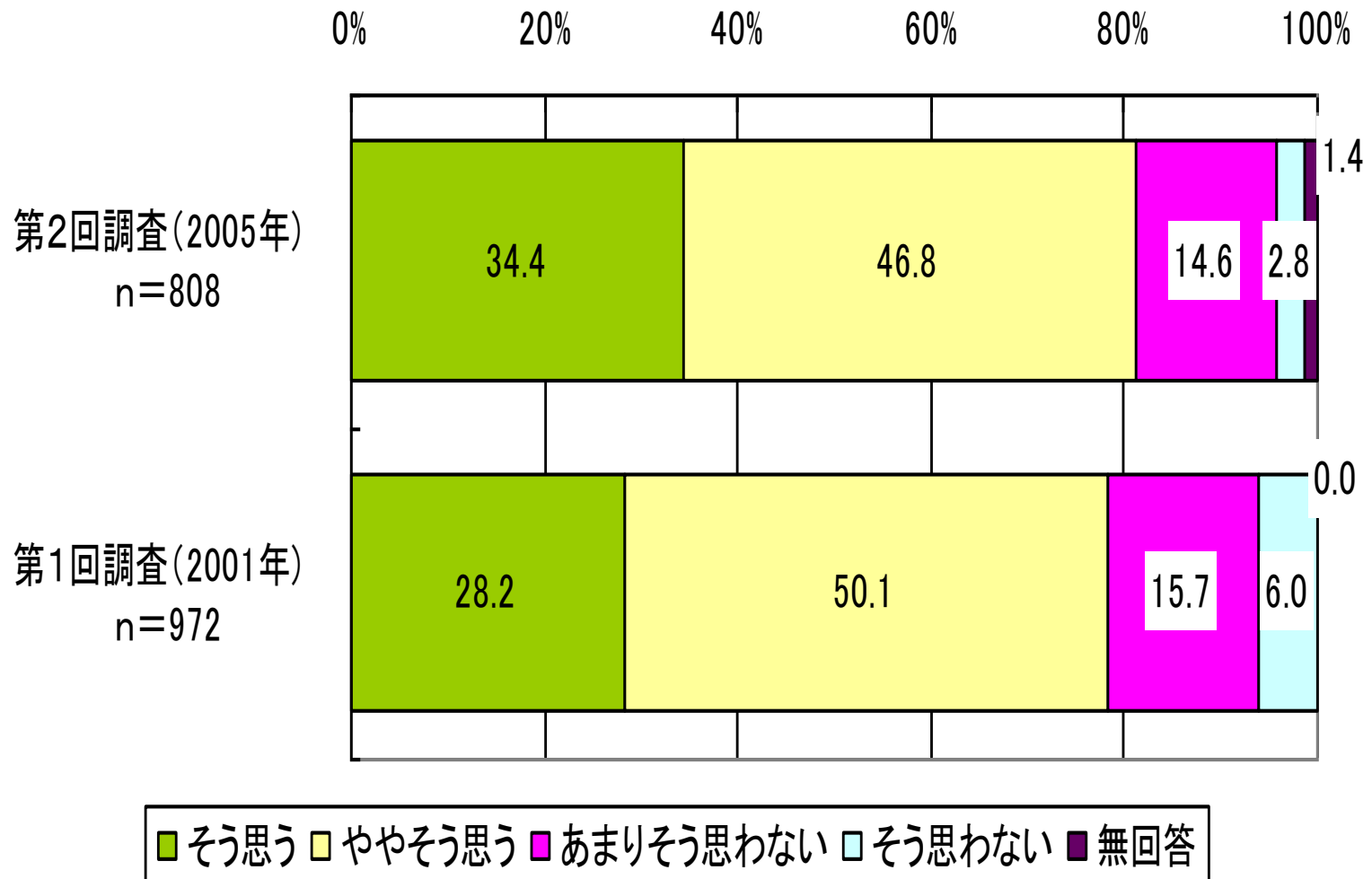
ホームページは WEN で探してみてください
<http://www.ne.jp/asahi/wen/net/index.htm>



WEN「くらしと放射線」プロジェクト 活動のきっかけと内容

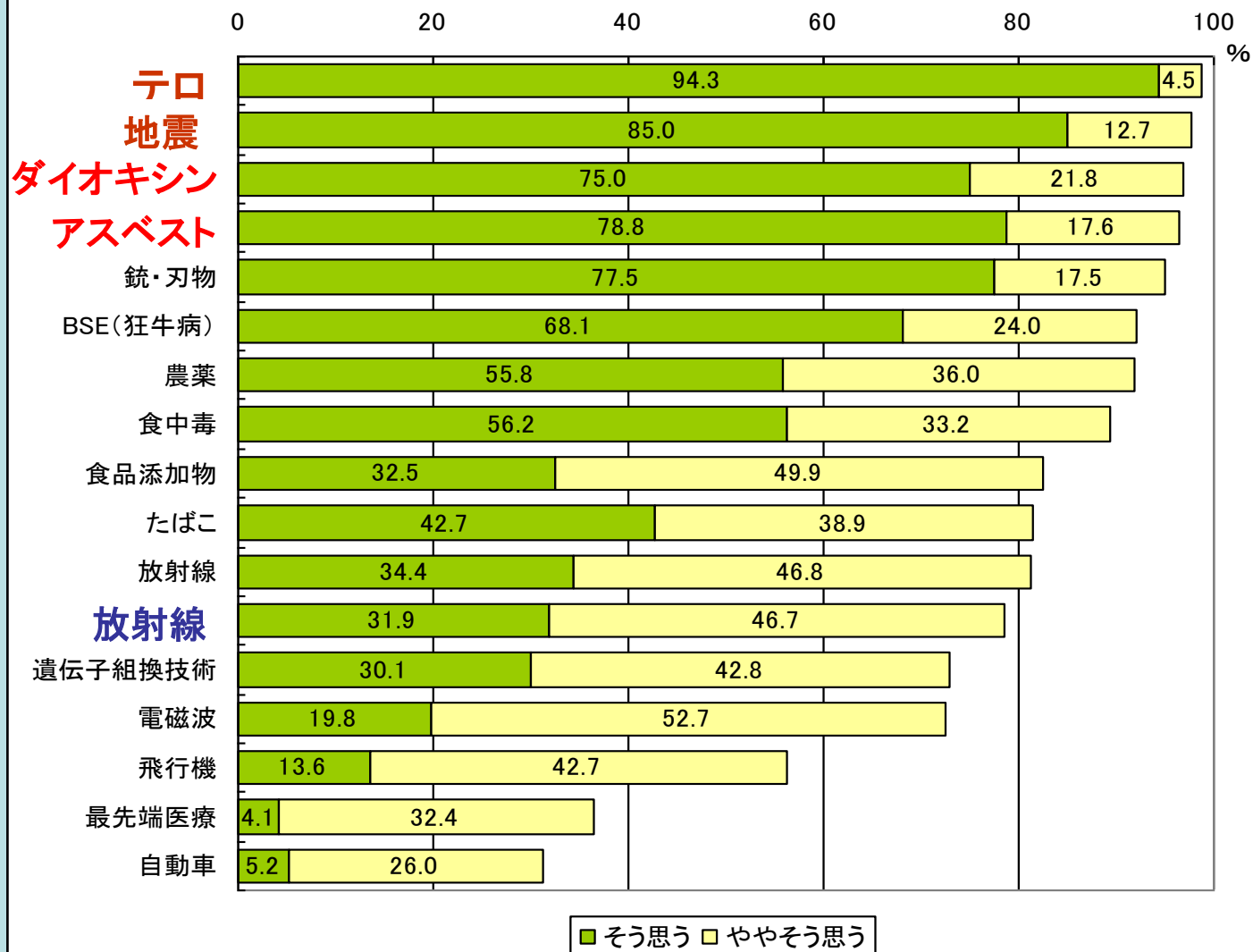


「放射線」という言葉を見たり聞いたりした時、 怖いものだというイメージがあるか



第1回は電気の消費地と生産地の女性1400人 第2回は大都市圏の女性980人に配布

もっとも怖いものはテロ・地震 第2回調査 n=808



「怖い」と感じる理由 第2回調査 n=808 (複数回答)

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0

自分の力では防いだりすることができないから

健康に悪影響があるかもしれないから

被害の規模が大きい（大きそうだ）から

テレビや新聞で事故や被害の報道をよく見聞きするから

次世代への負の遺産があるかもしれないから

被害による遺伝的な影響があるかもしれないから

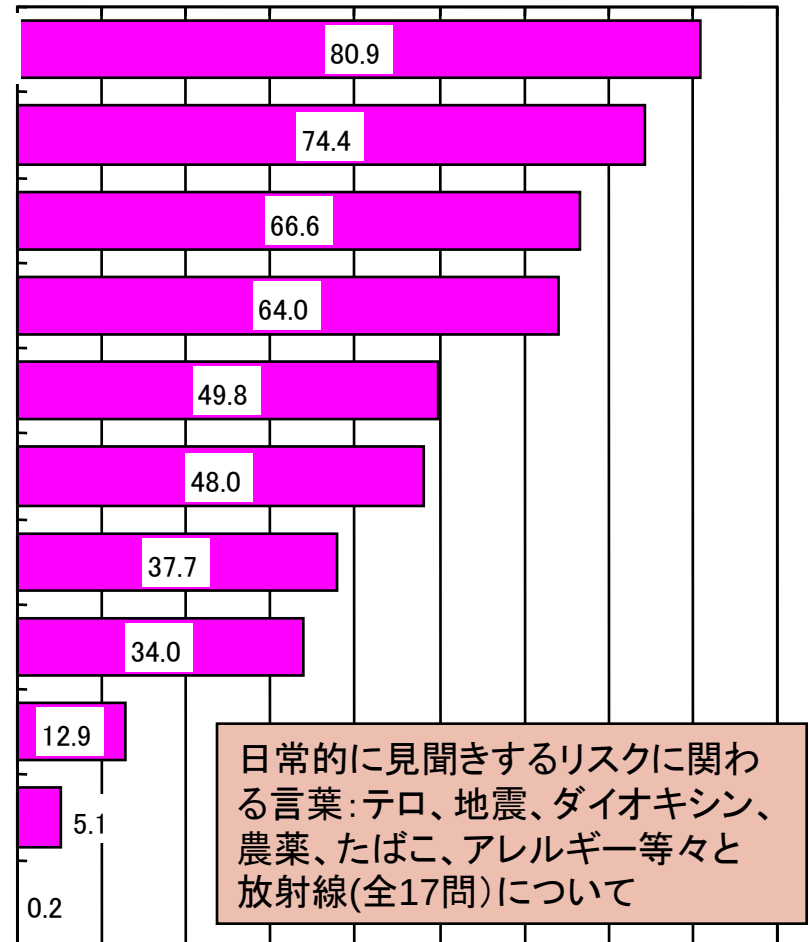
自分の目で見ることができないことがらだから

知識や情報がないから

身近な人の話や噂で怖いと聞くから

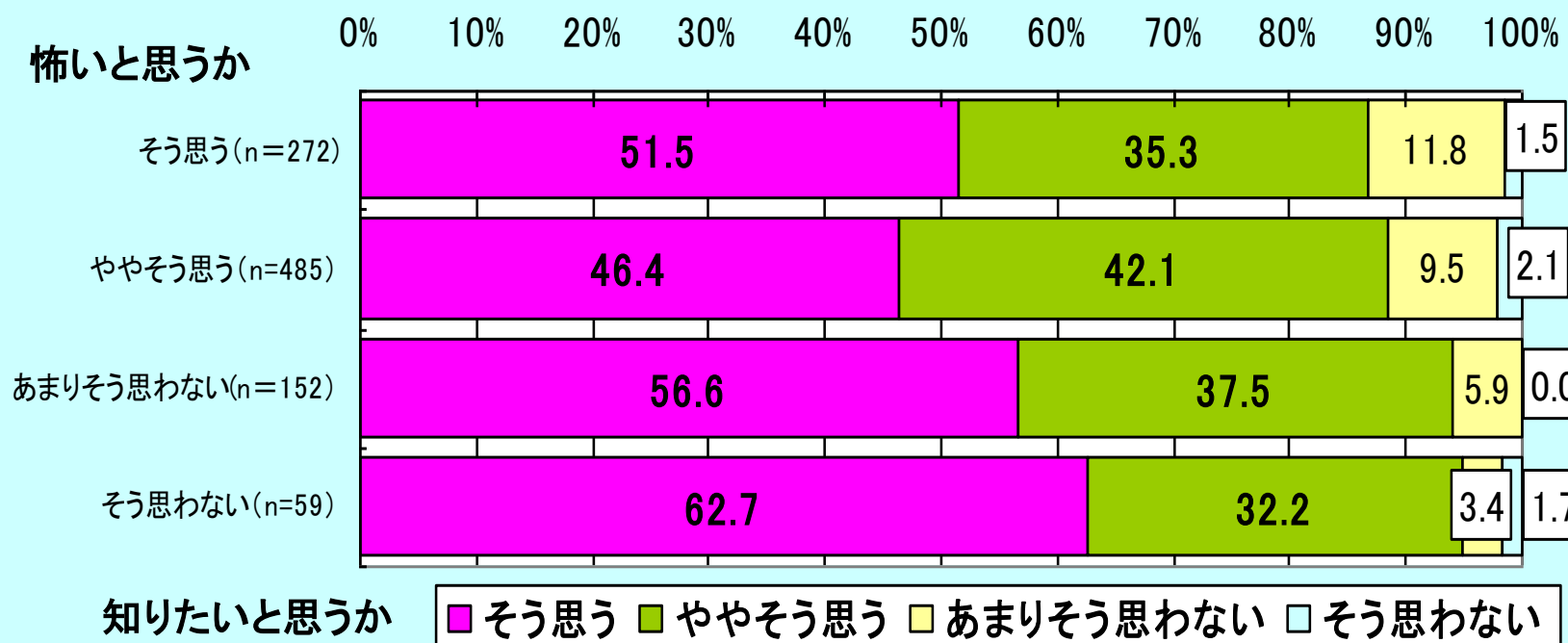
とくに理由はないがなんとなく

その他(自由記述:



放射線を怖いと思うかどうかと 放射線について知りたいと思うかどうか

第1回調査クロス集計 n=968



一般の女性たちは日常生活の中での「放射線利用」 をどう考えているか

2回の調査から見たこと

- 「放射線」に「怖い」イメージを持つ人は80% (第1回、第2回)
- <リスクに関わる言葉>17語中、「放射線」の「怖い」イメージ順位は11番目 (第2回)
- 暮らしの中で「怖い」と感じる理由は「自分の力で防いだりすることができないから」が第1位、第2位は「健康への悪影響」 (第2回)
- リスクを認識していても、メリットが実感できる「自動車」「最先端医療」等の「怖さ」は低い。 (第2回)
- 放射線やその利用に関する知識・用語に対する認知度は低い (第1回、第2回)
- 放射線に関わる知識の有無に関わらず、その情報の有益性は高いと捉えている (第2回)
- 食品への利用(選択可能)には抵抗感を示し、医療への利用(必要性大)は受容度が高い (第1回)
- 情報の提供や勉強の機会を積極的に望んでいる (第1回、第2回)

表記によって変わる認知(見たり聞いたり)度

1995年秋「エネルギー広報に関する意識調査」WEN

エネルギー関連施設見学予定者男女731人の回等結果から

核拡散防止条約	87%	NPT	35%
窒素酸化物	86	NOx	58
硫黄酸化物	84	SOx	46
国際原子力機関	83	IAEA	51
高速増殖炉	83	FBR	28
軽水炉	73	BWR	27
		PWR	27
非常用炉心冷却装置	66	ECCS	27

一般市民(とりわけ女性)を対象とした コミュニケーション活動で大切なこと

- 放射線に関する情報はほとんど届いていないため、用語や知識に関する認知度が低いことを前提にすること
- ただし、用語や知識を直接解説しても受け入れられる可能性は低く、くらし、生命との関連で分かりやすく伝えること
- 放射線利用の目的や利点は実例(製品やその表示)をあげて説明し、同時に極力デメリットも具体的に(数値をもって科学的に)示すこと
- 正確な情報を届け、一方的な価値観を押し付けないこと
- 判断や選択は相手に任せること
- 双方向のコミュニケーションの場をできるだけ設けること
- 専門家の説明には通訳(コーディネーター)が有効